

東北地方(被災地)でのガソリン・軽油等の供給確保 — 緊急の供給確保措置と拡大輸送ルートの設定 —

6月1日(水)
10:00時点

<本日のポイント>

- 仮設ミニSSにおける給油は、5/31をもって当面終了。
- 東北地方における石油供給は一部地域を除き、概ね正常化。今後、特段の動きがあれば別途御報告させていただきます。

東北地方(被災地)向け

タンクローリーを抜本的に追加投入(300台増)

- 303台を東北に追加投入済み。

西日本の製油所からのガソリン等の東北地方への大量転送

- 日量3.8万klの供給余力は確保
- 製油所の稼働率:フル稼働を確保
- 輸出停止分:当面約70万kl
- 緊急輸入:3~4月で50万kl強

太平洋側の油槽所(塩釜油槽所・八戸油槽所)の早期の機能回復

- (塩釜油槽所)5/31までに**212船**(計約**58.5万kl**)着棧済。
- (八戸油槽所)5/31までに**78船**(計約**23.3万kl**)着棧済。
- (JX仙台製油所)4/4までにドラム缶で灯軽油約1000本を出荷。

緊急重点SSの指定と重点供給

- 東北6県の緊急重点(207件)のうち、3/19~4/21延べ4351のSSに対して重点供給を実施。
- 5/30現在、東北地方にある元売系列の3070のSSのうち、**96%**にあたる**2937**のSSが稼働中。
- 元売会社がSSの営業状況について、ホームページで公開。

福島原発周辺地域への支援

- 福島県から、これまで6度にわたる周辺地域住民向けのガソリン等(計1590kl)の支援要請があり、その約9割(約1410kl)を供給済み。引き続き、供給を行う予定。

鉄道による輸送ルートの確保

- 東北本線の復旧に伴い、4/18以降郡山への出荷が約2600kl/日に増量。4/21以降盛岡への出荷も約1600kl/日に増量。
- 3/21以降、宇都宮へガソリン等(約6000kl/日)を輸送し、この一部を東北地域(福島県等)に搬送。

特に供給不足が著しい地域への重点供給対策 (ドラム缶による大量輸送等)

- 被災者向けに3/27に約4000本(灯油、軽油)を自衛隊に搬入済。
- 石油連盟による約2000本の灯軽油の無償提供については、4/4より出荷を開始。4/19までに計約2000本搬入済。

被災地からの要請への対応状況

- 5/12までに、病院等約1460件の要請全てに対し、ガソリン・軽油等を搬送済み。(合計約1.60万kl)

「仮設ミニSS」の設置

- 3/27~5/31に計9市町村に「仮設ミニSS」を設置し、累計で約**10300**台に対して給油を実施。(5/31をもって、給油を終了。)

LPガス対策(東北地方(被災地)向け)

- 病院、避難所の炊き出し用等にボンベ等の無償提供を実施(6800人分)。
- カセットコンロ約2.6万台、カセットボンベ約15万本を被災地に無償提供。
- LPガス国家備蓄を活用すべく、4万トンを出荷(7日完了)。

被災地におけるSSの仮営業再開の支援

- ポータブル給油機や中古の給油機、タンクコンテナ等を用いて、5/12までに7市町村(15SS)において仮営業を再開。(石巻市において新たに給油を開始。)